

平成 25 年度後期自己点検・自己評価報告書

専門学校松江総合ビジネスカレッジは、教育水準の向上と本校の目的および社会的責任を達成するために、教職員全員を対象として自己点検・自己評価を実施し、報告書にまとめました。

なお、評価点は 4 点満点で行っています。

(1) 評価テーマの自己評価点

	評 価 テーマ	自己評価点	前期自己評点
1	教育理念・目標・育成人材像	3.13	2.97
2	学 校 運 営	2.98	2.73
3	教 育 活 動	3.22	3.00
4	教 育 成 果	3.08	3.00
5	学 生 支 援	3.14	2.99
6	教 育 環 境	3.42	3.01
7	学 生 募 集 と 受 入 れ	3.15	2.90
8	財 務	2.93	2.83
9	法 令 等 の 遵 守	3.21	3.00
10	社 会 貢 献	3.42	3.33
11	国 際 交 流	3.33	3.21

(2) 結果を受けての総括

全評価テーマすべて前期の自己評価点を上回るとともに、各評価テーマの項目も 55 問中 50 問が前期の自己評価点を上回る点又は同じ点となる結果になった。この要因としては、昨年度前期に初めて現在の内容（細かく細分化された内容）で自己点検・自己評価を実施し、これまで以上に具体的な自己の振り返りをすることができた。これによりそれぞれの改善点や課題が明確となり後期に向けて取り組みやすい環境となった。その結果が後期の平均点上昇へと繋がったと考えられる。

しかし、まだ 3.00 未満の評価テーマが学校運営と財務の二つあり、これらの共通点を探ると管理職以上の教職員は把握しているが、それ以外の教職員は把握していない部分があるのではないかとと思われる。この情報の共通認識が弱いため 3.00 未満になっているのではないかと考えられる。

1-1：教育理念・目標・育成人材像（総平均点 3.13 前期平均点 2.97）

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.40	3.27
2	学校の特色として挙げられるものがあるか	3.25	3.32
3	学校の将来構想があり、3年~5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	3.10	2.86
4	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	2.75	2.41

1-2：上記 1-1 の項目についての課題

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①職員の意識共有化 ②学生・保護者・外部に対する周知不足 |
|---|

1-3：上記 1-2 についての改善策

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①教職員に対しては職員会議での校長訓話等で周知し、学生に対しては新入生研修等で学校生活のしおりを使い周知しているが、より目につきやすい形で周知する必要がある ②保護者等に対しては PTA 総会にて担任座談会や講演会を実施しているが、さらに広報活動を充実させる |
|--|

2-1 : 学校運営 (総平均点 2.98 前期平均点 2.73)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	学校運営方針は明確に定められ、きちんと教職員に明示され、伝わっているか	3.25	2.91
2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	3.30	2.95
3	運営組織や意思決定機関は、効率的なものになっているか	2.85	2.45
4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	2.50	2.27
5	教育活動等に関する情報公開が適切になれされているか	2.95	2.81
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.05	3.00

2-2 : 上記 2-1 の項目についての課題

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①人事考課が適正に評価されているか疑問 ②各部・各学科など様々な部分で連携がとれているとは言えないときがある |
|---|

2-3 : 上記 2-2 についての改善策

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①人事考課の見直しと再確認を実施した ②定期的に職員会議や学科会議を実施しているが、それだけでは補うことができない場合は担当者等を集めて会議や報告会を実施する |
|--|

3-1 : 教育活動 (総平均点 3.22 前期平均点 3.00)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けされているか	3.15	3.09
2	教育目標、育成人材像や業界の人材ニーズに対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.95	3.00
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.25	3.05
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.00	2.86
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.15	2.45
6	関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.35	3.32
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.55	3.41
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.55	2.77
9	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.50	3.14
10	資格取得等に関する指導体制は整っているか	3.50	3.32
11	育成目標に向け授業を行うことができる能力を備えた教員を確保しているか	3.10	3.05
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.60	2.50

3-2 : 上記 3-1 の項目についての課題

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①就業意識を促すカリキュラムの充実 ②職員の能力開発の研修回数が少ない ③教職員も資格を取得する |
|--|

3-3 : 上記 3-2 についての改善策

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①新入生研修の見直しや挨拶当番等を実施し、キャリア教育の充実に取り組んでいる ②学科ごとの年間計画として組み込む ③一条校化に向けて教職員の上級資格取得に力を入れている |
|--|

4-1：教育成果（総平均点 **3.08** 前期平均点 3.00）

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	就職率の向上が図られているか	3.55	3.32
2	資格取得率の向上が図られているか	3.35	3.09
3	退学率の低減が図られているか	2.90	3.05
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.50	2.55

4-2：上記 4-1 の項目についての課題

- ①卒業生の活躍及び社会的評価の情報が不足している
- ②教職員によって取り組みの差があるためクラスによって差が生じている

4-3：上記 4-2 についての改善策

- ①直近 3 年間の卒業生を対象に追跡調査を開始した
- ②実習授業の研究授業を実施し、より実践的な指導ができるよう取り組みを進めている

5-1 : 学生支援 (総平均点 3.14 前期平均点 2.99)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	就職指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.40	3.27
2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.25	3.00
3	学生に対する経済的な支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.20	3.05
4	学生の健康管理を担う組織体制が整備され、有効に機能しているか	2.75	2.77
5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	2.95	2.95
6	学生会館等、学生の生活環境への支援は行われているか	3.55	3.18
7	保護者と適切に連携しているか	3.05	2.91
8	卒業生への支援体制はあるか	3.00	2.81

5-2 : 上記 5-1 の項目についての課題

- ①保健室の整備が不十分
- ②就職指導に関する要支援者が多くキャリアセンターと担任では手が足りない

5-3 : 上記 5-2 についての改善策

- ①保健室担当の正規職員又は非常勤を検討する
- ②ジョブカフェやハローワークと提携し、フォローをしているが、より専門的な協力機関と提携することも検討する

6-1 : 教育環境 (総平均点 3.42 前期平均点 3.01)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか	3.45	2.86
2	学内外の実習、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.35	3.00
3	防災に対する体制は整備されているか	3.45	3.18

6-2 : 上記 6-1 の項目についての課題

- ① インターンシップの質と量の充実
- ② 机、ロッカー等の整備

6-3 : 上記 6-2 についての改善策

- ① 学科単位で企業・自治体を含めた連携体制の構築を進めている
- ② 予算の範囲内で順次、教室内設備の充実をする

7-1：学生募集と受入れ（総平均点 3.15 前期平均点 2.90）

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.25	2.95
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.10	3.00
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.10	2.59
4	学納金は妥当なものとなっているか	3.15	3.05

7-2：上記 7-1 の項目についての課題

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①少子化への対応 ②多様な年齢層に対して学生募集を実施する |
|--|

7-3：上記 7-2 についての改善策

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①ニュースソースを提供しHPの充実を図るとともに社会人に対する認知度を高めている ②入試制度を細分化し様々な年齢層を受け入れるようにしている |
|---|

8-1 : 財務 (総平均点 2.93 前期平均点 2.83)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評価点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.95	2.77
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.05	2.95
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.00	3.14
4	財務情報公開の体制は整備されているか	2.70	2.45

8-2 : 上記 8-1 の項目についての課題

- | |
|----------------------------|
| ①財務状況の可視化
②公開した財務状況の明瞭化 |
|----------------------------|

8-3 : 上記 8-2 についての改善策

- | |
|---|
| ①エコアラームの設置など職員のコスト管理意識の向上を図っている
②公開体制は整備されているので、よりわかりやすい財務報告書を作成する |
|---|

9-1 : 法令等の遵守 (総平均点 3.21 前期平均点 3.00)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評価点
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.00	3.00
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.30	3.18
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.30	3.05
4	自己評価結果を公表しているか	3.25	2.77

9-2 : 上記 9-1 の項目についての課題

①労働環境に関する問題については改善があまり見られない

9-3 : 上記 9-2 についての改善策

①勤務時間の申告など労働環境改善への取り組みを行った

10-1 : 社会貢献 (総平均点 3.42 前期平均点 3.33)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.35	3.14
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.55	3.68
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に行っているか	3.35	3.18

10-2 : 上記 10-1 の項目についての課題

- ①学生のボランティア活動についてまだまだ自主性が弱い
- ②低年齢層、高齢者に向けた取り組みが必要

10-3 : 上記 10-2 についての改善策

- ①年 2 回ボランティア活動を通してボランティア意識の向上をさせるとともにボランティア情報の提供も行う
- ②ファイナンシャルプランナーコースでは小学生を対象としたマネー教室を実施する

11-1 : 国際交流 (総平均点 3.33 前期平均点 3.21)

番号	評価項目	自己評価点	前期自己評点
1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3.30	3.23
2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.50	3.45
3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.20	2.95

11-3 : 上記 11-1 の項目についての課題

①生活と学業を安全に安心して行える環境づくりのバックアップ

11-4 : 上記 11-3 についての改善策

①日本語学科専任教員を採用することで留学生のバックアップ体制を充実させる